

記入日 2022 年 11 月 12 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2023 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	中島 理紗子
立候補する役職	交換留学委員長
大学/学部/学科	東京薬科大学/薬学部
学年	2 年
所属	交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2022 年 2 月 日本薬学生連盟入会 交換留学委員会所属
立候補動機	私は交換留学委員会での活動を通して、世界中の薬学生と関わりたいと感じました。活動期間はまだまだ短いですが、積極的に活動する周囲の先輩方や友人達を間近で見て、多くの刺激を受け、自分ももっと交換留学委員会に貢献したいと思うようになりました。また、現在新型コロナウイルスとの共存を目指す社会が構築されつつあり、対面でのイベント開催も少しずつ再開しています。この移り変わりの激しい時代に対応していくために、自分自身のスキルも高めたいです。さらに、現委員長からの推薦もあり、交換留学委員会の活動をみんなと盛り上げるために立候補いたしました。
問題点と改善案	問題点として情報の共有不足と英語力強化対策への手薄さを感じました。一つ目の問題点である情報の共有不足は、2022 年のオンライン交換留学プログラムのイベントで感じました。2 日間開催されましたが、海外からの参加者の当日欠席が多く見受けられました。また、1 日目と2 日目の当日運営について、スタッフ間の情報共有が直前まで行われませんでした。よって、現在交換留学委員会では参加者とスタッフ、およびスタッフ同士でも情報共有が不十分です。それらの対応として、まず海外の方に対して、メールやグループフォームなどを用いて、1 週間前に再度参加の意向を確認することを考えています。そうすることで、当日の無断欠席を防ぐことができます。さらに、直前の参加人数の把握が可能になり臨機応変にグループの再編成を行うこともできます。今後の開催はオンラインよりも対面での実施がメインとなることが予想されるため無断欠席はオンライン時よりは少ないと予想されますが、海外からの参加者とのイベント直前までのやり取りは今後の対面開催イベントであっても有益となるでしょう。また、スタッフの情報共有については、ミーティングが終わった後に簡潔にまとめ、参加できなかったスタッフにも共有できるようにしたいと考えています。私からスタッフへもこまめに連絡を取って不足している情報はないか、疑問はないか、気を配り、全体で適切に情報共有が行われるように努めます。そして次に英語力の対策についてですが、英語を話すことへの抵抗感があるスタッフや、さらなる英語力の向上を目標とするスタッフのために、英語を使う機会を提供し、対面イベントに加え、オンラインイベントを開催することで、海外の薬学生と少人数のグループに分かれてお話できるような機会を増やしたいと考えています。また、英語に普段から親しむことができるように、スタッフのおすすめの海外の歌や動画などをスタッフ同士で簡単に共有したいと考えています。日常生活に少しでも英語を取り入れることで、英語への親しみを持つことができるのではないかと考えています。
活動計画	【年間スケジュール予定】 4 月 地域リーダーミーティング、新規スタッフ獲得、スタッフ交流会 3～8 月 夏 SEP(対面実施)の企画・運営 10 月 地域リーダーミーティング、新規スタッフ獲得、スタッフ交流会 9～2 月 冬 SEP(対面実施)の企画・運営 3 月 後任への引継ぎ 【通年で行う活動】 ・海外の団体が主催するオンラインイベントのスタッフへの紹介 ・英語能力を向上させる機会の定期的な提供 ・交換留学プログラム(SEP)の SNS を通じた広報活動



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 3 丁目 39-12 ウェストビル 1 階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: <https://apsjapan.org>

所信

私自身を含め多くの薬学生が、英語が完璧でなくても、海外に興味があり、英語を用いて海外の方と交流したいという思いを持っています。初めて参加したオンラインイベントでは、伝えたいことが上手く伝わらないもどかしさと悔しさを体感しましたが、それ以上に自分の意志や意見を表示する経験や海外の方へ伝えるために必死に英語を絞り出した体験はとても楽しく印象的でした。今までの私は受動的にものごとに取り組むことが多かったですが、この交換留学委員会での経験を通して、もっと様々なことに挑戦してみたいと思うようになりました。そのため、自分が成長したと思える機会を提供し、このような素敵な経験を一人でも多くの薬学生と共有したいと考えています。私個人では力不足の面もあるかもしれませんが、スタッフの方々と協力し合い、世界の薬学生と交流し、薬学、医療情報、文化などを知り理解を深めていきたいです。歴代の先輩方が築き上げてきてこられたことを大切にしながら委員会さらには団体全体をより魅力のあるものにしていきたいです。